

令和8年8月25日開会

✱ ✱

令和 8 年 第 3 回

杵築市議会定例会（別冊）

(経営状況報告書)

✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱

経営状況報告書

報告第 1 6 号 公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状況について

－ 2 ページ －

報告第 1 7 号 株式会社きつとすきの経営状況について

－ 33 ページ －

令和8年度事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 31 日

公益社団法人杵築市地域活性化センター

令和 8 年度事業計画書

・基本方針

杵築市の農業は、高齢農家及び兼業農家により支えられた農業であるが、今後も農業従事者の高齢化に伴い離農や規模縮小が予測されるなか、担い手不足が深刻化している。

地域住民は、地域農業の維持管理や農業経営及び将来的な発展、継続を憂慮し、また、地域全体の活性化や集落自体の限界化に不安を抱えており、支援は喫緊の課題である。

こうしたなか、これまで限られた中核農家は、農地所有者の土地保有の志向性の強さにより、農地集積が顕著に進展しないまま推移し、更に一時的投資及び労働者不足等で育ち難い状況にあった。

この様な厳しい状況下で、農家の創意と工夫による経営改善の誘導をするものの、個人的な改善のみでは自ずと限界があった。

このため、この法人は、公益法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、長期展望に立った農地の流動化を推進するとともに、高性能機械や施設に対する投資の軽減、農作業の受委託等の支援、農業の分業化及び都市と農村との交流を実践し、もって効率的かつ生産性の高い農業及び地域活性化の実現を図ることを目的とする。そして杵築市農業の中核となる機関となり、魅力・やりがいのある農業を目指し、支援・振興を図ることとする。

その方策として、農地利用集積円滑化事業並びに、農地保全管理事業並びに、高次元農業推進事業並びに、担い手育成支援事業で構成する公益目的事業を実施する。

また、地域の景観並びに自然・生活環境を保全のため、過疎地域の集落等に対する生活道路維持管理、地域美化活動等の住民サービス等々の取り組みを、収益事業と位置づけ実施する。

実施する多岐にわたる事業は、その受益の大半が、小規模集落等の山間地の狭隘農地、分散農地など条件不利地域であり、作業効率等が極めて悪い。しかし、この法人は、農業福祉的役割を担いながら、地域農業の振興と過疎地域の支援を図ることにより、国土の保全及び自然・生活環境の保全、災害の防止等につながる。ひいては地域全体にその影響が及ぶ重要な役割を担っていると考え、使命として積極的に活動する。

・事業計画（総括）

大分県の最低賃金は、近年大幅な引き上げが続き、令和７年度改定額が８１円と過去最高となった。セクターでは、令和７年度に正職員候補として嘱託職員１名を採用しており、令和８年度から正職員採用となるが、ここ数年で最低賃金が一気に上昇したことから、初任給の改定が必要となり、かつ勤務年数７、８年になる職員との間で不均衡が生じることから、給料表の改正並びに一部職員の在職者調整を行う。

また物価上昇についても長期間継続しており、農業機械や部品、保守修繕費、水稲をはじめ各種子や培土、石油由来製品など資材の値上がりが続いており、特に今年度についてはチップソーが大幅な値上がりとなるなど、各種資材の調達価格の上昇が続いている。

そのような状況の中で、これまででセンターでは杵築市の農業公社であり、公益社団法人でもあるという認識のもと、一部製品や受託作業料金の小幅な値上げを繰り返し、全体的に極力値上げを抑える方向での判断をしてきたが、結果的に人件費や物価上昇に追いつかなくなったため、各部門において価格の改定を行い、収支の均衡を図った。令和８年度は、企業としてのサービス提供をさらに検討し、商品製造における施設、機械、原材料等に対する調達の見直しも行なっていきたい。

また、生産性向上の観点から、公共施設管理作業で助成金制度を利用し草刈機を装着したバックホーの導入を予定しており、人手不足に対応する作業体系の確立がなされ作業効率を向上させることで、費用の削減や作業受託の増加も図っていきたい。

令和８年度も人件費や物価の上昇が予測され、人手不足なども加わり非常に厳しい状況が続くことは確かであるが、顧問税理士や社労士と相談しながら財務状況の確認や見直しを行ったり、助成金制度を活用した機械の購入等を検討したりしながら、組織の強化を図っていく。また行政や各関係機関と協議を行いながら、事業拡大や新規事業の開拓を模索し、長期的な経営収支の安定を目指す。

1. 公益目的事業（令和8年度内訳）

一 農地利用集積円滑化事業一

農業生産の基盤となる優良農地を確保・有効活用のため、効率的かつ安定的な農業経営を営むものに対する農地の利用と集積の円滑化を図り、農村地域の秩序ある土地利用に努める。

農地中間管理事業の推進に関する法律の一部改正による農地バンク統合一体化に伴い、農地利用集積円滑化団体として新たな貸付業務などを行えないため、農地バンク事業への権利及び義務の継承を行うとともに、引き続き地域の農地の利用調整役を担い中間管理機構への集積に協力し、面的な農地利用の再編成に努めていく。地域農業経営サポート機構でも、担い手不在地域及び農地相談の大半を占める条件不利地域等では、連携員を中心とした農地の集積を目指し、農地の荒廃化抑制等に努める。

取り扱う事業別では、本年度農地の利用期間満了となる農地所有者代理事業、農地売買等事業は0件であるが、情報収集に努め、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

一 農地保全管理事業（農作業受託業務）一

農地保全管理事業では、依然米価の行方が不透明な情勢にあり、前年に増加した水稻準備作業や晴天が続いたために減少した稲刈作業等、判断の難しい状況が続いている。そのようなかで、今年度においては田植機の更新を図ることにしているが、耐用年数を超えた機械も多く保守修繕費が膨らんでいることやチップソ一等の消耗品・資材等でも値上がりが続いているため、農作業料金の見直しを行った。

その他受託作業では、作業員の高齢化や夏場の猛暑など様々な問題が発生していることから、前年に導入したラジコン草刈機を使用し、畦畔での作業効率向上や今後の新機種導入に向けたヒントを得ていく。農地保全管理事業においては、特に除草作業の軽減化・機械化を図っていくことが今後の事業展開にも大きな影響を与えるものと考えられることから、そのことを念頭に作業にあたっていく。

農地保全管理事業においては、農閑期となる冬の作業が問題となるため、今後も早期に森林組合と連携を図りながら、冬の作業確保に努めていく。

一 農作業受委託支援計画（面積基準）一

種 別	前年度実績 見込み (ha)	受託等計画												備 考	
		面積 (ha)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
水 稲 準 備 作 業	12.70	13.10	→	→	→									→	荒田耕起、荒水取り、植代掻き
畦 塗 り	16439m	16500m	→	→	→										
田 植 え	16.50	18.00	→	→	→										うち除草散布8ha、肥料散布5ha
水 稲 収 穫	29.50	32.70					→	→							通常27.7ha、湿5.0ha
農薬散布(麦含む)	238.25	261.00	→			→									①70ha、②180ha、麦外11ha
転 作 田 等 除 草	2.61	5.50	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7レ-対応、ハサミナイフ、刈払機(730h)
その他農作業支援	3.50	10.50				→	→	→						→	転作田耕起、深耕ローラー外
土 壌 改 良 材 散 布	19.60	18.00							→					→	ミドリG 180袋
堆 肥 散 布	20.00	20.00												→	水田散布600袋
森林組合委託業務	3件	4件	→	→	→									→	地替え、ネット張り、植栽作業
林道豊後高田大田線外除草	30000㎡	30000㎡								→					豊後高田山香線、外3路線
竹 林 再 生 事 業	2件	3件												→	

※農作業受委託合計(面積要件のみ) 378.80ha(前実見込比110.5%)

一 高次元農業推進事業 一

高次元農業推進事業の水稲苗では、前年に引き続き種子・培土共に大幅な値上がりとなるため、価格転嫁せざるを得ない状況となった。一方で米価については不透明な状況となっているため、今年度の水稲苗注文については予測することが難しいことから、動向を確認しながら早めに対応していく。

野菜苗生産では、通常品目については減少傾向が続いている品目が多く見られるが、前年に種苗会社からニラ苗やトウモロコシ苗を新規に受注することができた。苗生産場所が減っている関係で依頼があったものと思われるため、今後も種苗会社と密に連携を取り合いながら、生産量を増やしていきたい。花苗では、こ

れままで苗生産を行ってきたホオズキ苗・ヤマジノギク苗は、減少している。一方でJA全農から受注した花木であるサンゴミズキ苗は増加傾向にあるため、他の品目でこのような品目がないか、関係機関と協議しながら、新規品目を探っていく。

薬用植物栽培受託では、前年のキキョウ掘上作業でこれままで最大規模の薬用サイズが多く掘り上げられた圃場があったため、この部分を考察しながら、今後のキキョウ栽培に取り組んでいく。また前年に引き続き、重点品目となったミシマサイコ・カンゾウ・シヤクヤクについて、状況を市と共有しながら作業にあたっていく。

一 種類別生産計画 一

種 別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備 考	
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
水 稻	48,559	49,000	—	—	—	—	→	—	—	—	—	—	—	—	稈30千、緑2.5千、莖2.5千、穂7千、飼7千
シシトウ、トウガラシ、ピーマン	4,715	5,100	—	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→シシトウ1600、トウガラシ1500、ピーマン72000
白 ネ ギ 、 甘 ネ ギ	983,664	1,399,200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→	白ネギ1,145,760、甘ネギ253,440
タ マ ネ ギ	193,000	180,000	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	—	JAおおいだ4万、他14万 100本/束
ブロッコリー、カボチャ	15,000	18,900	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	—	JAべっふ日出注文 計18,900本
野菜苗(ふれあい他)	90,000	123,000	—	—	—	→	—	—	—	→	—	—	—	→	JA注文36500、その他86,500
ヤマジノギク(全農)	114,750	120,000	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	—	—	JA全農
小 菊(全農)	6,600	5,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→	7～10月咲 寒菊
ホ オ ズ キ(全農)	49,800	63,000	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→	新盆、旧盆、短径生産
花 苗(ふれあい他)	15,000	29,440	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→	公共機関より注文有 花木9200本
薬 用 作 物 栽 培			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→	受託作業

※水稲49,000枚(前実見込比100.9%)、野菜計1,726,200本(前実見込比134.2%)、花き・花壇苗計217,440本(前実見込比116.8%)

一 山 香 グ リ ー ン エ コ ラ ン ド 事 業 一

エコランド事業の家畜排泄物処理では、これまで過剰気味であった搬入量が減少傾向に転じたこととや令和6年度から安価な糞殻が定期的に入ることとで、品質の維持・向上が図れていることから、今後とも継続して行えるよう努める。

バラ・フレコン堆肥供給では、令和7年度は茶葉生産法人からの注文が停止されたため減少したが、令和8年度については供給予定となっている。また小袋堆肥供給については、依然高い水準で推移しており、特にJA全農の自己取对应が増えている。配達については、配達先の増加や車両老朽化の問題もあることから、これからについては運送業者を使った配送も検討していく。

エコランド事業においては、令和7年度に一次発酵舎に4台あるスクープのうち1台の修繕を市役所が行った。今後も自分達でできる限りのメンテナンスを行いながら、市との情報共有を図り、早期の改修・更新が図れるよう対応していく。また、令和8年度が指定管理期間の最終年度となるため、次の更新に向けた協議を重ねていく。

一 種類別生産計画

種 別	家畜排せつ物処理計画		生 産 量 (D)	種 別	堆肥供給計画
乳 用 牛 糞 繁 殖 牛 糞 肥 育 牛 糞	3,000 t	リ ュ ー ベ 換 算 量	3,791 m ³ (D)=A'×製品比率6.2%	バラ 堆 肥 自 己 取 り	550 m ³
	150 t	5,946 m ³ (B)=A÷比重0.74		バラ 堆 肥 配 達	400 m ³
	800 t		戻し堆肥等減損量(E)	バラ 堆 肥 配 達 散 布	1,000 m ³
豚 ぶ ん	0 t	副 資 材 使 用 量	-81 m ³	合 計	1,950 m ³
採 卵 鶏 糞	0 t	800 m ³ (C)	完成品量(F)	小袋 堆 肥 自 己 取 り	18,000 袋
ブ ロ イ ラ ー 糞	450 t			小袋 堆 肥 配 達	26,000 袋
合 計	4,400 t (A)	6,746 m ³ (A')=B+C	3,710 m ³ (F)=D-E	合 計	44,000 袋
				総 合 計	3,710 m ³

一 山香グリーンエコランド事業計画（数量基準）一

種 別		前年度実績 見込み	受託等計画												備 考	
			数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
処 理	家畜排せつ物搬入	4,000t	400	350	400	400	400	350	350	350	300	350	400	400	350	農家戸数:藍3 肥2 紫1 プ3 採卵0
	副資材搬入(刈草)	0m³														
	副資材搬入(ミカヅ)	800m³		150	100	150	150	100	150		50		100			1社より購入
	堆肥自己取り	220m³	20	10	10	10	10	10	40	10	20	20	340	30	30	
バ	堆肥配達	360m³	30	20	20	20	20	20	30	40	30	40	50	50	50	
	堆肥散布	1000m³	80	30	70	20	20	30	40	50	200	200	200	40	40	
小	堆肥自己取り	18,000袋	2000	1200	800	1500	1000	2000	1600	1500	700	2600	1600	1500		水稲600m³,花野菜400m³
	堆肥配達	26,000袋	4000	2200	800	800	1200	4000	3000	2500	600	1500	2400	3000		
袋	上記の内供給強化(JA供給)	4,000袋	1000				1000				2000					展示会、大量注文等(配4000)

※搬入処理量4,400t(前実績比110.0%)、供給：パ、ラ、1,950³(前実績比123.4%)、小袋44,000袋(前実績比107.3%)

一 担い手育成支援事業 一

地域の実質的な担い手となり活動の核でもある当センターは、担い手不在集落を含む杵築市全域をカバーする、杵築市地域農業経営サポート機構として県知事から認定されている。このため杵築市集落営農連絡協議会（19組織）を中心とする24連携員と杵築市、JA等の各協力関係機関と密に連携をとり、農地利用集積円滑化事業、農地保全管理事業、高次元農業推進事業と多岐に渡る事業を展開している。地域経営体の組織連携化を促進し、中核農家及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策等により、農家の労力を補完するとともに、農業機械等への過剰投資の抑制、地域主幹品目の維持・拡大を図り、もって農業所得の向上と生活の安定、さらには地域農業の振興、農地の保全を図っていく。

① 杵築リース農園事業(農地利用集積円滑化事業)

農用地の賃貸借は、リース期間満了をもって随時、中間管理機構への移行、相談・応援態勢を維持する。

2. 収益目的事業（令和8年度内訳）

収益事業の公共施設関連連管理作業では、環境保全美化を目的とし、杵築市から市道日出大田線外主要幹線21路線の除草作業、山香・大田地区における市道の道路補修・支障木伐採等の道路維持関連作業を受託し、また甲尾山公園外公園施設の除草作業やトイレ清掃を実施する。その外にも公共施設（学校）からの除草作業依頼に対応し、また住民の安心安全を脅かす蜂駆除には、迅速に対応できるよう取り組む。

最低賃金の引き上げやチップソーの値上げなど価格高騰が続く中で、収益事業は不採算部門である公益目的事業を補うことを目的としている点で重要性を増している。今年度については、助成金制度を利用した形で草刈機を装着したバックホーの購入を予定しており、作業体系の見直し等を進める。また猛暑日の多発等健康被害への懸念もあることから、可能な限りの対策も講じていく。

一 公共施設管理に係る受託作業の実施計画 一

種 別	前年度実績 見込(千円)	受託等計画												備 考	
		金額(千円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
山 香 地 域 市 道 除 草	7,337	7,590								→					69,758㎡(山香20、大田1路線)
甲 尾 山 公 園 外 管 理	9,011	9,876												→	除草158,883㎡(6カ所)トイレ清掃外
山 香 地 域 市 有 地 除 草 作 業	3,498	3,773												→	53,570㎡(16カ所)
山 香 大 田 地 域 市 道 維 持 管 理	2,504	2,640												→	道路維持、側溝清掃等
そ の 他 市 請 負	3,600	3,773												→	山香庁舎庭園維持管理、支障木伐採
そ の 他 請 負	1,700	2,900												→	蜂駆除100件、外

※ 請負金額合計30,552,000円（前実見込比110.5%）

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	75	38	37	法人：基本財産30,000千円定期利息
基本財産運用益計	75	38	37	197.4%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	65	33	32	公益：寄付金26,100千円定期利息
特定資産運用益計	65	33	32	197.0%
受取会費				
正会員受取会費	5,000	5,000	0	市300、JA(山120、杵80)
正会員特別受取会費	1,000	1,000	0	運営費1,000
受取会費計	6,000	6,000	0	100.0%
事業収益				
農地賃借収益		352	-352	R8支払予定なし
農地手数料収益		50	-50	R8支払予定なし
農地利用集積円滑化事業収益計		402	-402	
耕起作業収益	355	246	109	4.3ha 前実 5.2ha
畦塗り収益	1,452	1,320	132	16.5km 前実 16.4km
荒水代掻収益	713	662	51	8.8ha 前実 7.5ha
田植え作業受託収益	1,849	1,703	146	18.0ha 前実 16.5ha
水稻収穫作業受託収益	7,487	6,641	846	32.7ha 前実 29.5ha
農作業人夫使用料	671	560	111	農作業応援外
薬剤散布収益	11,327	11,434	-107	水稻250ha 前実231ha
その他農地保全管理収益	15,716	15,090	626	林道、多面、森林組合、除草外
農地保全管理事業収益計	39,570	37,656	1,914	105.1%
水稻苗生産収益	40,616	35,042	5,574	49,000箱 前実 48,559箱
野菜苗生産収益	10,670	10,746	-76	野菜苗減
花卉苗生産収益	8,425	8,149	276	花木(サコノミヤギ)増
育苗雑収益	12,150	10,452	1,698	薬用植物試験栽培管理契約増
高次元農業推進事業収益計	71,861	64,389	7,472	111.6%
堆肥供給収益	20,169	19,977	192	水稻散布増
受託収益	3,560	3,375	185	水稻散布増
家畜糞尿処理請負収益	2,442	2,640	-198	搬入量減
エコラント事業雑収益	1,000	1,000	0	
山香クリーンエコラント事業収益計	27,171	26,992	179	100.7%
杵築リース農園事業収益計				-
公共施設等管理作業収益	30,460	27,648	2,812	市有財産・市道維持・市有地・租園管理増
収益事業収益計	30,460	27,648	2,812	110.2%
事業収益計	169,062	157,087	11,975	107.6%
振替：受取地方公共団体補助金	2,649	3,264	-615	指定正味財産からの振替額
振替：受取国庫助成金	442		442	指定正味財産からの振替額
受取補助金等計	3,091	3,264	-173	94.7%
受取利息	239	105	134	預金受取利息
その他雑収益	30	30	0	自動販売機電気料金外
雑収益計	269	135	134	199.3%
経常収益計	178,562	166,557	12,005	107.2%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
(2) 経常費用				
事業費				(公益目的事業、収益目的事業)
(集積) 農地賃借費		352	-352	
農地集積円滑化事業費計		352	-352	
(保全) 諸材料費	4,043	4,393	-350	防除用農薬単価格下
(保全) 機械賃借費	220	198	22	ヘリ防除：車両レンタル外
(保全) その他作業委託費	4,874	4,296	578	ヘリ防除委託増、サボートHP保守
農地保全管理事業費計	9,137	8,887	250	102.8%
(高次) 種苗費	6,851	5,583	1,268	水稻種種子価格上昇
(高次) 肥料費	367	361	6	肥料
(高次) 農薬費	528	628	-100	水稻農薬外
(高次) 諸材料費	7,442	7,735	-293	水稻増土価格上昇・生薬諸材料→商品品計上
(高次) 出荷経費	541	991	-450	小計：出荷停止、ふれあい手数料外
(高次) 試験研究費	50	50	0	試験栽培費用外
(高次) 事業雑費	114	103	11	水稻苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	15,893	15,451	442	102.9%
(eco) 原材料	264	110	154	副資材(穀殻)
(eco) 諸材料費	2,000	2,000	0	小袋用袋
(eco) 燃料費	981	952	29	堆肥化処理燃料：バクイDF、冬季軽油
(eco) 動力光熱費	2,596	2,596	0	電気料金
(eco) 作業委託費	220	194	26	フレコン詰め、配達
(eco) 堆肥化経費	36	36	0	脱臭剤：希硫酸
(eco) eco推進活動費	50	50	0	処理料金減額(水分調整協力)、外
(eco) 堆肥化雑費	60	60	0	堆肥成分分析
山香グリーンエコランド事業費計	6,207	5,998	209	103.5%
杵築リース農園受託事業費計				-
(公共) 請負委託仕入	330	373	-43	芝肥料、蜂用スプレー外
公共施設等管理事業費計	330	373	-43	88.5%
事業原価計	31,567	31,061	506	101.6%
(事) 給料手当	79,936	73,320	6,616	常時31人、生薬7人、計4000h
(事) 退職給付費用	2,261	2,149	112	正職員7名
(事) 法定福利費	9,710	8,515	1,195	
(事) 福利厚生費	2,561	2,416	145	
人件費計	94,468	86,400	8,068	109.3%
(事) 会議費	50	49	1	
(事) 消耗品費	5,631	4,003	1,628	クラブソー外
(事) 宣伝広告費	180	218	-38	エコ：試供品、販促品
(事) 通信運搬費	792	789	3	各事業：切手、電話料金
(事) 図書研修費	777	737	40	資格取得、研修
(事) 事務委託費	530	488	42	税理士顧問料(公・収)、手数料等
(事) 租税公課	9,965	9,677	288	軽油税、印紙税、消費税
(事) 会費分担金	57	65	-8	各事業協議会等会費
(事) 保守修繕費	7,142	6,445	697	各事業機械施設修繕等
(事) 保険料	1,406	1,409	-3	自動車、賠償、傷害
(事) 水道光熱費	3,045	2,677	368	各事業：電気、水道
(事) 賃借料	1,607	1,528	79	車輛・機械、会計システム(公・収)
(事) 消耗什器備品費	683	733	-50	保全、公共：工具、刈払機
(事) 車輛費	3,295	3,678	-383	各事業：車検・整備、タイヤ外
(事) 施設管理費	801	739	62	電気保安、警備(公)、ゴミ(公・収)
(事) 燃料費	4,234	4,728	-494	車輛・機械・施設燃料
(事) 減価償却費	6,519	5,990	529	車輛・機械・施設償却
(事) 旅費交通費	30	30	0	旅費
(事) 雑費	409	321	88	高次：水源ダム使用料、外
その他事業経費計	47,153	44,304	2,849	106.4%
事業費合計	173,188	161,765	11,423	107.1%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減(A)-(B)	備 考
管理費				(法人会計)
(管)給料手当	1,065	1,031	34	算出基礎:従事 合計31人体制
(管)法定福利費	188	183	5	
(管)福利厚生費	111	108	3	
人件費計	1,364	1,322	42	103.2%
(管)会議費	37	36	1	理事会・総会費用
(管)消耗品費	141	181	-40	事務消耗品
(管)通信運搬費	98	105	-7	切手、電話料金
(管)図書研修費	66	66	0	図書、公社研修費、外
(管)事務委託費	1,445	1,004	441	税理士(法)、社労士顧問料
(管)租税公課	32	6	26	収入印紙、外
(管)会費分担金	54	53	1	農業公社協議会、安全運転管理
(管)保守修繕費	84	65	19	複合機、会計システム保守、セキュリティ
(管)保険料	26	7	19	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費	109	112	-3	事務所:水道、ガス、電気
(管)賃借料	614	622	-8	会計システムレンタル(法)、防犯カメラ
(管)消耗什器備品費	50	50	0	パソコン、周辺機器
(管)車輛費	170	50	120	整備費
(管)施設管理費	209	209	0	警備保障(法)、ゴミ収集(法)、外
(管)燃料費	91	111	-20	自動車
(管)旅費交通費	114	114	0	役員費用弁償
(管)支払利息	23	19	4	短期借入金利息
(管)雑費	30	30	0	
その他管理費計	3,393	2,840	553	119.5%
管理費合計	4,757	4,162	595	114.3%
経常費用計	177,945	165,927	12,018	107.2%
評価損益等調整前当期経常増減額	617	630	-13	97.9%
当期経常増減額	617	630	-13	97.9%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
その他の経常外収益計				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
税引前当期一般正味財産増減額	617	630	-13	97.9%
法人税、住民税及び事業税	419	315	104	
当期一般正味財産増減額	198	315	-117	62.9%
一般正味財産期首残高	132,168	131,841	327	
一般正味財産期末残高	132,366	132,156	210	100.1%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金(指)		1,149	-1,149	薬用植物栽培センター
受取国庫助成金(指)	4,640		4,640	バックホウ(草刈機装着用)
受取補助金等計	4,640	1,149	3,491	-
一般正味財産への振替額	3,091	3,264	-173	
当期指定正味財産増減額	1,549	-2,115	3,664	
指定正味財産期首残高	72,364	74,479	-2,115	
指定正味財産期末残高	73,913	72,364	1,549	102.1%
III 正味財産期末残高	206,279	204,520	1,759	100.9%

令和7年度

事業報告書

自 令和 7年4月 1日
至 令和 8年3月31日

豊かな村づくり



写真：キキョウ堀上作業 堀上機試運転

公益社団法人 杵築市地域活性化センター

主 な 活 動 報 告

年	月	日	活 動 内 容
令和 7 年	4 月	2 1 日	ヤマジノギク親株苗引取(県花きグループ)
	5 月	4 日	田植え受託作業開始
		1 5 日	杵築市集落営農連絡協議会通常総会
		1 5 日	ヤマジノギク苗挿し芽作業開始
		2 0 日	監事会(令和 6 年度会計等監査)
	6 月	2 日	理事会
		1 1 日	集落営農法人課題解決セミナー(大分県主催)
		1 6 日	東部地区水田農業研究会(第 1 回)
		1 6 日	ヤマジノギク苗納品開始(JAおおいた豊肥エリア)
		2 3 日	杵築市農業再生協議会監事会
		2 3 日	定時社員総会、理事会
		3 0 日	杵築市農業再生協議会総会
	7 月	7 日	大分県市町村農業公社連絡協議会総会
		1 7 日	水稻無人ヘリコプター防除 1 回目開始(～ 8 / 5 迄)
	8 月	5 日	ラジコン草刈機納品
		1 8 日	水稻無人ヘリコプター防除 2 回目開始(～ 9 / 5 迄)
		2 2 日	早期水稻収穫受託作業開始
		2 2 日	ホオズキ播種作業
	9 月	2 日	タマネギ播種作業開始(超極早生)
		5 日	次代につなぐ集落営農法人経営発展・継承研修会 (大分県主催)
		3 0 日	監事会(令和 7 年度上半期棚卸)

主 な 活 動 報 告

年 月 日		活 動 内 容
令和7年	10月	1日 キキョウ堀上作業開始(10/6よりアルバイト出勤)
		2日 公益法人セミナー(税理士事務所主催)
		20日 タマネギ苗(極早生)収穫開始
		29日 土壌改良材(水田ミネラルG散布)開始
	11月	11日 監事会(令和7年度上半期会計等監査)
		17日 土壌改良材(水田堆肥散布)開始
	12月	9日 大分県花き種苗供給連絡協議会
		16日 理事会
		17日 東部振興局普及職員全体研修会受入
		23日 カボチャ播種作業開始
令和8年	1月	16日 ホオズキ挿し作業開始
		29日 大分県市町村農業公社連絡協議会事務局長会議及び研修会
	2月	10日 杵築市農業再生協議会臨時総会
		13日 杵築市集落営農連絡協議会先進地視察
		16日 県北地区農業公社事務担当者研修会
		20日 東部地区水田農業研究会
		20日 ホオズキ苗(新盆分)出荷開始
	3月	10日 理事会
		10日 ホオズキ苗(旧盆分)出荷開始
		18日 水稻播種作業開始
		23日 小菊(7月咲)出荷開始
		31日 監事会(令和7年度棚卸)

【事業報告】

－ 総 括 －

農業・農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化並びに後継者不足が進行し、また肥料原料等生産コストの増大や異常気象の多発等、ただでさえ様々な不安要素がある中で、2月末から始まったアメリカとイランの紛争により、今後の資材や燃料等の供給に対する不安が広がり、刻々と変化する状況に振り回されている。

大分県においては最低賃金引き上げ額が数年間高い水準で推移している中で、今年度は令和8年1月1日から過去最高の81円引き上げられ、今後様々な対策を講じる必要性が生じることとなった。

そのような中で活性化センターは通常通り事業を行ってきたが、3月に労災事故が発生したため再発防止に向け、理事長より所信表明（安全宣言）を頂いた。稼働中の機械付近で作業を行った結果生じた事故であったため、より個々の安全意識を高める必要性を感じる事案となった。

経営面の収入では、高次元農業推進事業の水稲苗生産で、減少傾向が続いた供給枚数が1550枚ほど増加したことや水稲種子及び培土の値上げが続いているため、今年度についても価格の見直しを行ったことで、前年比115.0%の増収となった。また、公共施設管理事業では、市の請負金額が増額されたことや選挙看板の設置撤去作業等の臨時の作業が増えたこともあり、前年比121.7%の増収となった。そのため、経常収益計は前年比106.0%となる1億6646万円となった。

一方費用の人件費では、最低賃金の引き上げ等により給料手当が前年比104.3%となった外、令和7年6月1日から労働安全衛生規則が改定され、熱中症対策の義務化に対応したため、福利厚生費が前年比131.1%となった。その他事業費では、エコランドの修繕が増加したことにより保守修繕費が前年比152.1%と増加し、また草刈機や野菜種子の発芽等で使用する電熱マットなどを購入したことにより消耗什器備品費が前年比300.5%と大幅な増加となった。これらにより、事業費合計は前年比105.8%となり、これに管理費を合わせた経常費用計は前年比105.5%となる1億6386万円となった。これらから法人税、住民税及び事業税を引いた当期一般正味財産増減額は前年度を上回る175万円となった。

今年度については、かなり厳しい経営状況になることを予想していたが、一部商品について価格の改定を行い、農閑期にも切れ間なく作業を行えたことで、収支差額を計上することができた。

翌年度については、最低賃金の引き上げやチップソー等の大幅な値上げが実施されたことから農作業料金の見直しを行ない、また水稲苗生産でも種子及び培土の値上げに対応し、水稲苗の価格改定も実施した。一方で最低賃金引き上げに伴う職員態勢強化の為に規程を改正し、しばらく実施できていなかったベースアップや在職者調整も行うこととした。

そのような中で、世界各地で戦争や紛争が続いており、様々な原料・資材等

の不足が懸念され、さらに厳しさを増してくることが予想される。このような混沌とした状況の中で、事業を進めていくことになるが、資材や燃料がなければ作業を行えない状態に陥るため、情報に耳を傾けながら、迅速に対応できる体制作りに注力する。しばらくは先が見通せない状況が続くことが予想されるため、農家や関係機関、取引業者などと密に連絡を取りながら、継続的な事業が行えるように取り組む。

1. 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化事業は、農地中間管理事業（農地バンク）に一元化され取り扱いができないため、新規相談や利用権終期到来分について市へ情報提供を行うとともに、地権者・担い手双方へ案内文書を送付し、問合せ窓口として農地中間管理機構に集積されるべく調整を行った。

今後も市・農業委員会等の関係機関の指導のもと、農地中間管理機構への集積に協力し、ひいては杵築市の農業発展のために、希望ある農業へと誘導できるよう重要な役割を担っていきたい。

2. 農地保全管理事業

地域農業、農地の保全、農業機械の過剰投資の抑制を目的に、農作業受託という形で実質的な担い手となり、農業支援に取り組んだ。

水稲作業においては、新規の申し込みもあり件数が増加したものもあったが、田植機が稼働後まもなく故障し、一時的な応急処置により対応することができたが、1台しかないため、今後の作業に不安が生じた。そのため、今後の機械導入計画を見直し、翌年度の導入を計ることとした。収穫作業においては、前年に見られた台風や降雨による影響が少なかったため、注文数が減少した。

新たに導入したラジコン草刈機は、新機種の販売時期が遅かったために、圃場での作業は行えなかったが、試験的に行った作業では真夏日に傾斜の厳しい箇所での作業を行うことができた。労働者の高齢化や労働者不足等の問題が活性化センターにおいても生じており、今後も機械化を検討しながら、依頼に対応できる体制整備に努める。

また前年度に市より受託した竹粉碎機管理・貸出業務委託では12件の申し込みがあったが、今年度後半から少しずつ機械の故障が増えており、その部分については市と協議を行いながら、今後の事業展開を検討していく。

農閑期には別杵速見森林組合から地拵え等の作業を受託することができたが、砂利敷き作業中に労災事故が発生した。作業中にバックホー付近で作業を行ったことで生じた事故であるため、より個々の安全意識を高められるように取り組む。

3. 高次元農業推進に関する育苗センターの管理運営

杵築市農業の振興と発展を目的とし、農家の育苗作業の省力化及び経費の軽減を図り、農家のニーズに合った安心安価な健苗生産供給に取り組んだ。

水稲苗では、数年間減少が続いていたが、今年度は食用米が前年比103.5%、飼料米が前年比102.0%とどちらも増加し、水稲苗全体では前年比

103.3%、約1550枚増加となった。

薬用植物栽培試験では、育苗用のベンチの導入やハウス施設等の充実を測ることができた。作業面では、今年度もキキョウを中心とした作業を行い、真夏日が多発したことや小雨であったことから根の状態が気になったが、細いものも多くあった中で、一部圃場でこれまでで最大級の根が掘り上げられたことから、今後の生産に生かせるように検討していく。

育苗ハウスの野菜苗生産では、種苗会社から新たな品目としてニラ苗を受託した外、資材費の値上げにより単価の見直しを行ったことから前年比110.9%の増収となった。一方の花弁苗生産では、小菊苗を杵築近郊のみの供給に限定したことから、花卉全体では前年比72.7%の大幅な減収となった。その中で、花木であるサンゴミズキ苗の注文が増加していることから、その依頼に答えつつ、新たな品目についても関係機関と連携しながら、模索していく。

戦争や紛争のために原材料不足が発生していることから、業者との連絡を密に取りながら、スムーズに事業を行える状態作りに努める。

4. 山香グリーンエコランド事業

【 搬 入 】

家畜排せつ物搬入では、総搬入量が3,827tで前年比88.2%となり、511t減少し、計画比79.7%となった。

各畜種における対前年での増減は、乳牛ふんが557t減少し、肥育牛ふんが138tの増加、ブロイラーふんが92t減少した。

【 堆肥化処理過程 】

これまで過剰気味であった搬入量が前年比88.2%と減少したが、堆肥製造過程で重要である肥育牛ふんが増加した。また令和6年度から継続して安価なモミガラが確保できており、良質堆肥の製造に繋がっている。

【 堆肥供給 】

堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比89.7%、計画比89.4%となり、小袋供給は前年比102.5%、計画比96.9%であった。

フレコン・バラ供給では、バラ渡しは前年比52.0%、計画比47.8%で、フレコン配達が前年比124.7%、計画比106.0%で、フレコン散布が前年比97.0%、計画比107.3%であった。

フレコン・バラにおいては、原料搬入量が減少している中で毎年あった茶葉生産農家からの大量注文はなかったが、前年比89.7%を確保できており、今後の供給に対して検討を行う必要があると考えている。

小袋堆肥では、工場渡しは前年比106.0%、計画比106.5%で、小袋配達では、前年比99.6%、計画比89.6%であった。

小袋については下期の供給量が増加しており、今年の冬に寒い日が少なく、小雨であったことが要因と考えられる。

今年度は市が一次発酵舎一機の改修を行なった。一方で車両や機械等の保守修繕費は大幅に増加したが、県が事業で行ったバーク堆肥散布事業を請け負っ

たことにより受託作業や雑収入も増えたため、市には75万円ほどの指定管理に係る寄付金を納めることとなった。

5. 杵築リース農園事業

リース料精算に係る事務作業については、JAおおいた東部エリアからの請求を受け、各事業実施者（参入者）に対するリース料（農地賃借料、施設償還金・保険料等未収金）の請求令書を発送し、随時リース料を徴収し、地権者並びにJAへの支払い事務を実施した。

6. 収益目的事業（公共施設等管理事業）

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道日出大田線ほか主要幹線の草刈・維持管理及び各種公園施設の管理などを受託し、環境保全美化に努めた。あわせて住民の安全な暮らし、災害忌避を目的としてスズメバチ等の害虫駆除を実施した。

今年度については、市道除草作業で新たに2路線が増え、後の作業受託については少し作業場所を変更しながら通常通りの除草・管理作業を行った。一方で害虫駆除作業は66件であり、件数ベースで前年比235.7%と増加し、事業全体の請負金額ベースで前年比121.7%と増加した。

活性化センターは公益目的事業比率が高く、公共施設等管理事業は収益目的事業と位置付けられており、不採算部門である公益目的事業部門を補う役割を担っている。熱中症対策を徹底しながら、職員の健康面を第一に考慮し、住民や市役所からの多様な要望に対応し、増収を図っていく。

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和8年3月31日現在)	前会計期間末 (令和7年3月31日現在)	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	57,411	45,389	12,022	
普通預金	121,008,103	119,637,202	1,370,901	
事業未収入金	22,152,829	19,671,607	2,481,222	43件：公益42件、収益1件
未収収益	22,886	5,608	17,278	4件：公益3件、法人1件
たな卸資産	13,422,079	10,813,599	2,608,480	諸材料、原材料、仕掛品、製品
貯蔵品	9,848	11,874	-2,026	切手
立替金	9,900	9,000	900	エコ：エコフレット伝票
流動資産合計	156,683,056	150,194,279	6,488,777	104.3%
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産定期預金(基)(指定)	30,000,000	30,000,000	0	市18000千円、JA12000千円
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0	100.0%
(2) 特定資産				
定期預金(特)(指定)	26,100,000	26,100,000	0	リース14100千円、共通12000千円
構築物(特)(指・一)	24,756,031	24,756,031	0	ハウス資材一式、ハウス設備、ハウス被覆材外(3件)
車輛運搬具(特)(指・一)	15,714,494	15,714,494	0	マニピュレータ(7件)
機械装置(特)(指・一)	64,246,718	65,643,953	-1,397,235	クボタトラクター-SL48外(34件)
栽培特許料(特)(指・一)	615,000	615,000	0	晃花の富士外(2件)
機械・設備取得資金(特)(指・一)	22,583,049	24,181,049	-1,598,000	特定資産取得・改良資金
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-99,220,215	-96,575,322	-2,644,893	46件
特定資産合計	54,795,077	60,435,205	-5,640,128	90.7%
(3) その他固定資産				
構築物	210,000	210,000	0	シャワーユニット(1件)
車輛運搬具	3,480,290	3,480,290	0	軽トラ(2件)、軽ダンプ
工具器具備品	43,050	43,050	0	代表者外印
機械装置	11,534,293	9,550,110	1,984,183	パソコン(7外)(21件)
電話加入権	152,880	152,880	0	2件
保証金	22,160	22,160	0	3件
減価償却累計額(△)	-7,820,753	-7,215,445	-605,308	25件(工具器具備品、電話加入権、保証金除く)
その他固定資産合計	7,621,920	6,243,045	1,378,875	122.1%
固定資産合計	92,416,997	96,678,250	-4,261,253	95.6%
資産合計	249,100,053	246,872,529	2,227,524	100.9%
II 負債の部				
1. 流動負債				
事業未払金	13,609,264	12,730,719	878,545	57件：公益47件、収益10件
未払金	714,069	603,422	110,647	21件：公益11件、法人10件
預り金	157,709	41,729	115,980	住民税、所得税
賞与引当金	2,752,522	2,403,673	348,849	
流動負債合計	17,233,564	15,779,543	1,454,021	109.2%
2. 固定負債				
退職給付引当金	26,876,500	24,760,500	2,116,000	
固定負債合計	26,876,500	24,760,500	2,116,000	108.5%
負債合計	44,110,064	40,540,043	3,570,021	108.8%
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	5,010,140	8,109,860	-3,099,720	特定資産等導入補助金
寄付金	66,369,329	66,369,329	0	基本金、特定預金、普通預金
指定正味財産合計	71,379,469	74,479,189	-3,099,720	95.8%

貸 借 対 照 表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和8年3月31日現在)	前会計期間末 (令和7年3月31日現在)	増 減	備 考
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	基本財産
(うち特定資産への充当額)	(31,110,140)	(34,209,860)	(-3,099,720)	特定資産
2. 一般正味財産	133,610,520	131,853,297	1,757,223	
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)	(23,684,937)	(26,225,345)	(-2,540,408)	特定資産
正味財産合計	204,989,989	206,332,486	-1,342,497	99.3%
負債及び正味財産合計	249,100,053	246,872,529	2,227,524	100.9%

貸 借 対 照 表
(内 訳 表)
(令和8年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益等 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	57,411	0	0		57,411
普通預金	105,537,810	7,101,408	8,368,885		121,008,103
事業未収入金	19,691,029	2,461,800	0		22,152,829
未収収益	20,729		2,157		22,886
たな卸資産	13,100,727	321,352			13,422,079
貯蔵品	8,528	330	990		9,848
他会計短期貸付金	279,874,768	54,586,288	0	-334,461,056	0
立替金	9,900	0	0		9,900
流動資産合計	418,300,902	64,471,178	8,372,032	-334,461,056	156,683,056
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金(基)(指定)			30,000,000		30,000,000
基本財産合計			30,000,000		30,000,000
(2) 特定資産					
定期預金(特)(指定)	26,100,000				26,100,000
構築物(特)(指・一)	24,756,031				24,756,031
車両運搬具(特)(指・一)	14,014,803	1,699,691			15,714,494
機械装置(特)(指・一)	64,246,718				64,246,718
栽培特許料(特)(指・一)	615,000				615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	22,583,049				22,583,049
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-97,520,526	-1,699,689			-99,220,215
特定資産合計	54,795,075	2			54,795,077
(3) その他固定資産					
構築物	210,000				210,000
車両運搬具	3,480,290	0			3,480,290
工具器具備品	10,500		32,550		43,050
機械装置	10,886,293	648,000			11,534,293
電話加入権			152,880		152,880
保証金	22,160				22,160
減価償却累計額(△)	-7,172,754	-647,999	0		-7,820,753
その他固定資産合計	7,436,489	1	185,430		7,621,920
固定資産合計	62,231,564	3	30,185,430		92,416,997
資産合計	480,532,466	64,471,181	38,557,462	-334,461,056	249,100,053
II 負債の部					
1. 流動負債					
事業未払金	12,570,103	1,039,161	0		13,609,264
未払金	515,667	0	198,402		714,069
預り金	157,709	0	0		157,709
他会計短期借入金	299,518,365	0	34,942,691	-334,461,056	0
賞与引当金	2,752,522				2,752,522
流動負債合計	315,514,366	1,039,161	35,141,093	-334,461,056	17,233,564
2. 固定負債					
退職給付引当金	26,876,500				26,876,500
固定負債合計	26,876,500				26,876,500
負債合計	342,390,866	1,039,161	35,141,093	-334,461,056	44,110,064
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	5,010,140	0			5,010,140
寄付金	36,369,329		30,000,000		66,369,329
指定正味財産合計	41,379,469	0	30,000,000		71,379,469
(うち基本財産への充当額)			(30,000,000)		(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(31,110,140)	(0)			(31,110,140)
2. 一般正味財産	96,762,131	63,432,020	-26,583,631	0	133,610,520
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)	(23,684,935)	(2)			(23,684,937)
正味財産合計	138,141,600	63,432,020	3,416,369	0	204,989,989
負債及び正味財産合計	480,532,466	64,471,181	38,557,462	-334,461,056	249,100,053

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位: 円)

会計名: 会計全体 科目	当会計期間 自 令和07年4月1日 至 令和08年3月31日	前会計期間 自 令和06年4月1日 至 令和07年3月31日	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	75,719	2,027	73,692	
基本財産運用益計	75,719	2,027	73,692	3735.5%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	87,817	17,886	69,931	
特定資産運用益計	87,817	17,886	69,931	491.0%
受取会費				
正会員受取会費	5,000,000	5,000,000		市300、JA200(山120、杵80)
受取会費計	5,000,000	5,000,000		100.0%
事業収益				
農地賃借収益	352,199	754,904	-402,705	契約終了のため減額
農地手数料収益	50,000	50,000		
農地利用集積円滑化事業収益計	402,199	804,904	-402,705	50.0%
耕起作業収益	435,705	352,429	83,276	5.65ha
畦塗り収益	1,493,894	820,174	673,720	16899m
荒水代掻収益	520,965	468,867	52,098	荒水取り2.49ha、代掻き4.78ha
田植え作業受託収益	1,372,366	1,333,039	39,327	16.5ha
水稻収穫作業受託収益	5,808,986	6,471,552	-662,566	29.45ha
水稻裏作作業受託収益	28,050	20,900	7,150	大豆播種1件
農作業人夫使用料	78,540	124,438	-45,898	WCS積込作業
薬剤散布収益	9,345,095	9,426,446	-81,351	238.2ha:稲231.4ha他6.8ha
その他農地保全管理収益	18,003,545	19,051,541	-1,047,996	森林組合作業受託、畝立外
農地保全管理事業収益計	37,087,146	38,069,386	-982,240	97.4%
水稻苗生産収益	36,129,762	31,411,104	4,718,658	48,559枚103.3% 飼料米6705枚、食用増
野菜苗生産収益	9,103,046	8,209,943	893,103	コナラ(新規)、単価変更
花卉苗生産収益	7,048,403	9,700,568	-2,652,165	小菊苗減少(杵築近郊のみ)
育苗雑収益	11,931,390	10,057,836	1,873,554	薬用植物事業契約増額外
高次元農業推進事業収益計	64,212,601	59,379,451	4,833,150	108.1%
堆肥供給収益	19,100,116	18,365,238	734,878	フルコンパ589.7%、小袋102.5%
受託収益	4,143,232	3,810,474	332,758	7配124.7%、散97.0%、小袋配99.6%
家畜糞尿処理請負収益	2,208,519	2,545,263	-336,744	搬入量88.2%
エコランド事業雑収益	1,228,830	372,625	856,205	バーク堆肥散布事業外
山香グリーンエコランド事業収益計	26,680,697	25,093,600	1,587,097	106.3%
杵築リース農園事業収益計				
公共施設等管理作業収益	27,636,010	22,703,509	4,932,501	市受託作業、蜂駆除増
収益事業収益計	27,636,010	22,703,509	4,932,501	121.7%
事業雑収益		20,000	-20,000	
事業収益計	156,018,653	146,070,850	9,947,803	106.8%
受取補助金等				
振替:受取地方公共団体補助金	3,099,720	4,016,378	-916,658	指定正味財産からの振替額
受取補助金等計	3,099,720	4,016,378	-916,658	77.2%
雑収益				
受取利息	232,343	59,700	172,643	受取利息増
その他雑収益	1,950,285	1,845,527	104,758	エコランド事務、自販機電気代外
雑収益計	2,182,628	1,905,227	277,401	114.6%
経常収益計	166,464,537	157,012,368	9,452,169	106.0%
(2) 経常費用				
事業費				
(集積)農地賃借費	352,191	754,896	-402,705	契約終了のため減額
農地集積円滑化事業費計	352,191	754,896	-402,705	46.7%

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間 自 令和07年4月1日～ 至 令和08年3月31日	前会計期間 自 令和06年4月1日～ 至 令和07年3月31日	増減	備考
(保全)諸材料費	2,312,140	2,687,611	-375,471	ハリ農薬外
(保全)機械賃借費	1,597,200	1,066,020	531,180	ハリリース料外
(保全)その他作業委託費	2,816,205	2,828,030	-11,825	ハリ散布委託外
農地保全管理事業費計	6,725,545	6,581,661	143,884	102.2%
(高次)種苗費	6,466,167	6,253,625	212,542	水稻種子等単価上昇
(高次)肥料費	339,415	348,261	-8,846	花き・野菜等肥料
(高次)農薬費	567,871	426,326	141,545	水稻・野菜等農薬
(高次)諸材料費	8,157,016	7,564,527	592,489	水稻培土等価格上昇
(高次)委託栽培費		255,200	-255,200	
(高次)出荷経費	627,889	503,253	124,636	ふれあい手数料
(高次)試験研究費		99,000	-99,000	
(高次)事業雑費	364,580	103,920	260,660	水稻7771操作盤点検、苗箱洗浄作業委託外
高次元農業推進事業費計	16,522,938	15,554,112	968,826	106.2%
(eco)原材料	161,963	177,147	-15,184	穀殻
(eco)諸材料費	1,645,755	1,566,107	79,648	小袋用袋
(eco)燃料費	719,621	742,998	-23,377	作業燃料費
(eco)動力光熱費	2,016,852	2,242,250	-225,398	電気料
(eco)作業委託費	2,810,335	2,639,702	170,633	場内作業・配達応援外
山香グリーンエコント`事業費計	7,354,526	7,368,204	-13,678	99.8%
杵築リース受託事業費計			-	-
(公共)請負委託仕入	88,662	72,644	16,018	害虫駆除剤
公共施設等管理事業費計	88,662	72,644	16,018	122.0%
事業原価計	31,043,862	30,331,517	712,345	102.3%
(事)給料手当	69,515,978	66,652,142	2,863,836	31名(職7嘱5臨3P16)
(事)退職給付費用	2,116,000	1,986,000	130,000	退職給付引当金
(事)法定福利費	9,030,818	9,162,692	-131,874	社会保険、労働保険
(事)福利厚生費	2,325,017	1,773,675	551,342	中退共、制服、熱中症対策外
(事)賞与	2,752,522	2,403,673	348,849	賞与引当金
人件費計	85,740,335	81,978,182	3,762,153	104.6%
(事)消耗品費	3,281,084	2,594,467	686,617	各事業：事務、用具等
(事)宣伝広告費	44,304	79,517	-35,213	イベント時販売値引
(事)通信運搬費	677,566	707,790	-30,224	各事業：電話、切手代
(事)図書研修費	163,020		163,020	職員資格取得
(事)事務委託費	2,367,555	2,370,997	-3,442	各振込手数料外
(事)租税公課	9,686,605	9,281,488	405,117	各事業：印紙、自動車税、消費税外
(事)会費分担金	24,000	21,000	3,000	高次：ふれあい会費
(事)保守修繕費	6,221,897	4,091,723	2,130,174	コフレンド`機械、農作業機修繕外
(事)保険料	1,388,681	1,358,002	30,679	施設、農機、傷害等
(事)水道光熱費	2,477,894	2,215,599	262,295	各事業：水道、電気
(事)賃借料	1,665,504	1,133,291	532,213	車輛、作業機、事務機器外
(事)消耗什器備品費	1,610,716	535,974	1,074,742	草刈機、電熱マット外
(事)車輛費	2,210,712	2,610,571	-399,859	車検、整備費等、707777点検外
(事)施設管理費	784,164	986,794	-202,630	高次・コ：電気保安、警備保障
(事)燃料費	4,189,975	3,924,647	265,328	車輛、機械、設備燃料
(事)減価償却費	5,810,829	6,646,833	-836,004	22種：特定7種、その他15種
(事)支払寄付金	755,024	851,308	-96,284	コフレンド`指定管理納入金
(事)雑費	923,730	460,720	463,010	グ`4使用料、水質検査費用外
その他事業経費計	44,283,260	39,870,721	4,412,539	111.1%
事業費合計	161,067,457	152,180,420	8,887,037	105.8%
管理費				
(管)給料手当	347,608	567,125	-219,517	給与
(管)法定福利費	64,462	108,422	-43,960	社会保険、労働保険
(管)福利厚生費	53,823	47,885	5,938	制服、健康診断外
人件費計	465,893	723,432	-257,539	64.4%

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位: 円)

会計名: 会計全体 科目	当会計期間 自 令和07年4月1日～ 至 令和08年3月31日	前会計期間 自 令和06年4月1日～ 至 令和07年3月31日	増減	備考
(管) 会議費	6,965	7,050	-85	理事会・総会費用
(管) 消耗品費	165,292	71,863	93,429	事務消耗品
(管) 通信運搬費	73,807	54,762	19,045	通信、切手
(管) 図書研修費	48,900	41,860	7,040	新聞外
(管) 事務委託費	849,920	1,019,772	-169,852	会計指導、税理士・社労士報酬外
(管) 租税公課	6,000	32,400	-26,400	自動車税外
(管) 会費分担金	12,000	12,000		安全運転管理協会年会費
(管) 保守修繕費	41,046	1,500	39,546	コピー機、フォードスチャージ
(管) 保険料	7,000	23,530	-16,530	自動車保険
(管) 水道光熱費	75,364	70,792	4,572	電気料外
(管) 賃借料	551,004	519,296	31,708	複合機、会計システム、防犯カメラ
(管) 消耗什器備品費	60,192	49,500	10,692	洋式トイレ外
(管) 車輛費		111,955	-111,955	
(管) 施設管理費	209,029	209,029		警備保障、ゴミ収集外
(管) 燃料費	90,730	67,661	23,069	車輛燃料費
(管) 旅費交通費	96,000	92,000	4,000	役員費用弁償
(管) 雑費	39,508	29,544	9,964	協賛金外
その他管理費計	2,332,757	2,414,514	-81,757	96.6%
管理費合計	2,798,650	3,137,946	-339,296	89.2%
経常費用計	163,866,107	155,318,366	8,547,741	105.5%
評価損益等調整前当期経常増減額	2,598,430	1,694,002	904,428	153.4%
当期経常増減額	2,598,430	1,694,002	904,428	153.4%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計				
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損	7		7	
固定資産売却損計	7		7	-
経常外費用合計	7		7	-
当期経常外増減額	-7		-7	-
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,598,423	1,694,002	904,421	153.4%
税引前当期一般正味財産増減額	2,598,423	1,694,002	904,421	153.4%
法人税、住民税及び事業税	841,200	660,300	180,900	
当期一般正味財産増減額	1,757,223	1,033,702	723,521	170.0%
一般正味財産期首残高	131,853,297	130,819,595	1,033,702	100.8%
一般正味財産期末残高	133,610,520	131,853,297	1,757,223	101.3%
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	3,099,720	4,016,378	-916,658	77.2%
当期指定正味財産増減額	-3,099,720	-4,016,378	916,658	77.2%
指定正味財産期首残高	74,479,189	78,495,567	-4,016,378	94.9%
指定正味財産期末残高	71,379,469	74,479,189	-3,099,720	95.8%
III 正味財産期末残高	204,989,989	206,332,486	-1,342,497	99.3%

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位:円)

(自)令和7年 4月 1日 ～ (至)令和8年 3月 31日現在										
科目	公益目的事業会計							収益等事業会計 公共施設管理事業	法人会計	合計
	農地利用集積円 滑化事業	農地保全管理事業	高次元農業推進 事業	山香ｸﾘｰﾝﾌｫｰﾌﾞ 事業	杵築ｸﾘｰﾝﾌｫｰﾌﾞ 事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産運用取利息									75,719	75,719
基本財産運用益計									75,719	75,719
特定資産運用益										
特定資産運用取利息					35,346	52,471	87,817			87,817
特定資産運用益計					35,346	52,471	87,817			87,817
受取会費										
正会員受取会費						2,500,000	2,500,000		2,500,000	5,000,000
受取会費計						2,500,000	2,500,000		2,500,000	5,000,000
事業収益										
農地賃借収益	352,199						352,199			352,199
農地手数料収益	50,000						50,000			50,000
農地利用集積円滑化事業収益計	402,199						402,199			402,199
耕起作業収益		435,705					435,705			435,705
畦張り収益		1,493,894					1,493,894			1,493,894
荒水代償収益		520,965					520,965			520,965
田植え作業受託収益		1,372,366					1,372,366			1,372,366
水稻收穫作業受託収益		5,808,986					5,808,986			5,808,986
水稻裏作作業受託収益		28,050					28,050			28,050
農作業人夫使用料		78,540					78,540			78,540
薬利散布収益		9,345,095					9,345,095			9,345,095
その他農地保全管理収益		18,003,545					18,003,545			18,003,545
農地保全管理事業収益計		37,087,146					37,087,146			37,087,146
水稻苗生産収益			36,129,762				36,129,762			36,129,762
野菜苗生産収益			9,103,046				9,103,046			9,103,046
花卉苗生産収益			7,048,403				7,048,403			7,048,403
育苗雑収益			11,931,390				11,931,390			11,931,390
高次元農業推進事業収益計			64,212,601				64,212,601			64,212,601
堆肥供給収益				19,100,116			19,100,116			19,100,116
受託収益				4,143,232			4,143,232			4,143,232
家畜糞尿処理請負収益				2,208,519			2,208,519			2,208,519
堆肥供給収益				1,228,830			1,228,830			1,228,830
家畜糞尿処理請負収益				26,680,697			26,680,697			26,680,697
山香ｸﾘｰﾝﾌｫｰﾌﾞ事業雑収益										
山香ｸﾘｰﾝﾌｫｰﾌﾞ事業収益計										
杵築ｸﾘｰﾝﾌｫｰﾌﾞ農園事業収益計										
公共施設等管理作業収益										
収益事業収益計								27,636,010		27,636,010
事業収益計	402,199	37,087,146	64,212,601	26,680,697			128,382,643	27,636,010		156,018,653
受取補助金等										
振替:受取地方公共団体補助金		999,570	148,200	1,951,950			3,099,720			3,099,720
受取補助金等計		999,570	148,200	1,951,950			3,099,720			3,099,720

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位:円)

(自)令和7年 4月 1日 ～ (至)令和8年 3月 31日現在									
科目	公益目的事業会計						収益等事業会計 公共施設管理事業	法人会計	合計
	農地利用集積円 滑化事業	農地保全管理事業	高次元農業推進 事業	山香リゾート事業	杵築リゾート農園事業	共通	小計		
雑収益									
受取利息	3,501	38,918	62,342	44,894	233	70,567	220,455	11,888	232,343
その他雑収益						1,920,000	1,920,000	30,285	1,950,285
雑収益計	3,501	38,918	62,342	44,894	233	1,990,567	2,140,455	42,173	2,182,628
経常収益計	405,700	38,125,634	64,423,143	28,677,541	35,579	4,543,038	136,210,635	2,617,892	166,464,537
(2) 経常費用 事業費									
(集積) 農地賃借費	352,191						352,191		352,191
農地集積円滑化事業費計	352,191						352,191		352,191
(保全) 諸材料費		2,312,140					2,312,140		2,312,140
(保全) 機械賃借費		1,597,200					1,597,200		1,597,200
(保全) その他作業委託費		2,816,205					2,816,205		2,816,205
農地保全管理事業費計		6,725,545					6,725,545		6,725,545
(高次) 植苗費			6,466,167				6,466,167		6,466,167
(高次) 肥料費			339,415				339,415		339,415
(高次) 農業費			567,871				567,871		567,871
(高次) 諸材料費			8,157,016				8,157,016		8,157,016
(高次) 出荷経費							627,889		627,889
(高次) 事業雑費			364,580				364,580		364,580
高次元農業推進事業費計			16,522,938				16,522,938		16,522,938
(eco) 原材料				161,963			161,963		161,963
(eco) 諸材料費				1,645,755			1,645,755		1,645,755
(eco) 燃料費				719,621			719,621		719,621
(eco) 動力光熱費				2,016,852			2,016,852		2,016,852
(eco) 作業委託費				2,810,335			2,810,335		2,810,335
山香リゾート事業費計				7,354,526			7,354,526		7,354,526
杵築リゾート受託事業費計									
(公共) 請負委託仕入									
公共施設管理事業費計									
事業原価計	352,191	6,725,545	16,522,938	7,354,526			30,955,200	88,662	88,662
(事) 給料手当	304,266	15,961,377	26,355,779	5,342,505			57,685,280	88,662	88,662
(事) 退職給付費用						9,721,353	9,721,353		31,043,862
(事) 法定福利費						2,116,000	2,116,000		69,515,978
(事) 福利厚生費	54,963	2,102,073	3,128,401	887,969		1,791,954	7,965,360		2,116,000
(事) 賞与	27,990	374,549	701,717	37,447		515,069	1,656,772		9,030,818
人件費計				220,044			2,752,522		2,752,522
(事) 消耗品費	387,219	18,437,999	30,185,897	6,487,965		2,532,478	2,752,522		2,752,522
(事) 宣伝広告費		410,745	1,177,342	239,440		16,676,854	72,175,934		85,740,335
(事) 通信運搬費				44,304		156,276	1,983,803		3,281,084
(事) 図書研修費	5,074	238,893	123,514	202,156			44,304		44,304
(事) 事務委託費		16,500				22,563	592,200		677,566
(事) 租税公課	1,342	48,463	25,834	1,953,638		146,520	163,020		163,020
(事) 会費分担金		2,176,952	3,226,253	2,080,596		161,590	2,189,525		2,367,555
			24,000			34,500	7,519,643		9,686,605
							24,000		24,000

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位:円)

(自)令和7年 4月 1日 ～ (至)令和8年 3月 31日現在										
科目	公益目的事業会計									
	農地利用集積円滑化事業	農地保全管理事業	高次元農業推進事業	山香リゾート事業	杵築リース農園事業	共通	小計	収益等事業会計 公共施設管理事業	法人会計	合計
(事)保守修繕費	848	2,073,572	1,830,088	1,667,399		117,910	5,689,817	532,080		6,221,897
(事)保険料	1,780	591,415	319,524	226,468			1,139,187	249,494		1,388,681
(事)水道光熱費	553	25,393	2,378,751	41,071		12,424	2,458,192	19,702		2,477,894
(事)賃借料	635	562,749	551,219			319,304	1,433,907	231,597		1,665,504
(事)消耗什器備品費		25,780	1,116,691	19,096		73,700	1,235,267	375,449		1,610,716
(事)車輦費		624,466	453,050	812,649		71,300	1,890,165	320,547		2,210,712
(事)施設管理費			250,800	390,764			712,864	71,300		784,164
(事)燃料費		1,185,081	1,289,374	514,854			2,989,309	1,200,666		4,189,975
(事)減価償却費		2,790,658	862,574	2,157,597			5,810,829			5,810,829
(事)支払寄付金				755,024			755,024			755,024
(事)雑費		92,980	119,850	709,900			922,730	1,000		923,730
その他事業経費計	10,232	10,863,647	13,748,864	11,814,956		1,116,087	37,553,786	6,729,474		44,283,260
事業費合計	749,642	36,027,191	60,457,699	25,657,447		17,792,941	140,684,920	20,382,537		161,067,457
管理費									347,608	347,608
(管)給料手当									64,462	64,462
(管)法定福利費									53,823	53,823
(管)福利厚生費									465,893	465,893
人件費計									6,965	6,965
(管)会議費									165,292	165,292
(管)消耗品費									73,807	73,807
(管)通信運搬費									48,900	48,900
(管)図書研修費									849,920	849,920
(管)事務委託費									6,000	6,000
(管)租税公課									12,000	12,000
(管)会費分担金									41,046	41,046
(管)保守修繕費									7,000	7,000
(管)保険料									75,364	75,364
(管)水道光熱費									551,004	551,004
(管)賃借料									60,192	60,192
(管)消耗什器備品費									209,029	209,029
(管)施設管理費									90,730	90,730
(管)燃料費									96,000	96,000
(管)旅費交通費									39,508	39,508
(管)雑費									2,332,757	2,332,757
その他管理費計									2,798,650	2,798,650
管理費合計									2,798,650	2,798,650
経常費用計	749,642	36,027,191	60,457,699	25,657,447		17,792,941	140,684,920	20,382,537	2,798,650	163,866,107
評価損益等調整前当期経常増減額	-343,942	2,098,443	3,965,444	3,020,094	35,579	-13,249,903	-4,474,285	7,253,473	-180,758	2,598,430
当期経常増減額	-343,942	2,098,443	3,965,444	3,020,094	35,579	-13,249,903	-4,474,285	7,253,473	-180,758	2,598,430

(単位：円)

(自)令和7年 4月 1日 ～ (至)令和8年 3月 31日現在													
科目	公益目的事業会計										収益等事業会計 公共施設管理事 業	法人会計	合計
	農地利用集積円 滑化事業	農地保全管理事 業	高次元農業推進 事業	山香ノリ・エコワ ト・事業	杵築ノリ・農園事 業	共通	小計						
2. 経常外増減の部 (1) 経常外収益													
経常外収益計													
(2) 経常外費用													
固定資産売却損			2	1	3			6		1		7	
固定資産売却損計			2	1	3			6		1		7	
経常外費用合計			2	1	3			6		1		7	
当期経常外増減額			-2	-1	-3			-6		-1		-7	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-343,942	2,098,441	3,965,443	3,020,091	35,579	-13,249,903	-4,474,291	7,253,472	-180,758	2,598,423			
他会計振替額						3,449,657	3,449,657	-3,449,657					
税引前当期一般正味財産増減額	-343,942	2,098,441	3,965,443	3,020,091	35,579	-9,800,246	-1,024,634	3,803,815	-180,758	2,598,423			
法人税、住民税及び事業税								770,200	71,000	841,200			
当期一般正味財産増減額	-343,942	2,098,441	3,965,443	3,020,091	35,579	-9,800,246	-1,024,634	3,033,615	-251,758	1,757,223			
一般正味財産期首残高	3,982,392	93,000,774	113,884,140	12,962,783	28,558	-126,071,882	97,786,765	60,398,405	-26,331,873	131,853,297			
一般正味財産期末残高	3,638,450	95,099,215	117,849,583	15,982,874	64,137	-135,872,128	96,762,131	63,432,020	-26,583,631	133,610,520			
Ⅱ 指定正味財産増減の部													
一般正味財産への振替額		999,570	148,200	1,951,950				3,099,720		3,099,720			
当期指定正味財産増減額		-999,570	-148,200	-1,951,950				-3,099,720		-3,099,720			
指定正味財産期首残高		2,161,771	431,214	5,516,875	14,100,000	22,269,329	44,479,189		30,000,000	74,479,189			
指定正味財産期末残高		1,162,201	283,014	3,564,925	14,100,000	22,269,329	41,379,469		30,000,000	71,379,469			
Ⅲ 正味財産期末残高	3,638,450	96,261,416	118,132,597	19,547,799	14,164,137	-113,602,799	138,141,600	63,432,020	3,416,369	204,989,989			

財産目録 (場所、物量等) (令和8年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
現金	手元保管	公1:運転資金として公1¥57,411	57,411
普通預金(一般:公益共通、収益、法人) ※当該預金残高は、当科目とその他の積立資産(機械・設備等取得資金)を合算した額である。	JAおおいた山香支店	公1:収1、法人会計の共通財産口座No:0001015 公1:運転資金として ¥37,355,114 (うち公益事業に使用する寄付金 ¥10269329) 収1:運転資金として ¥7,101,408 法人:運転資金として ¥0	44,456,522
普通預金(作業受委託:農地保全)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001651	14,356,324
普通預金(育苗:高次元)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001805	6,671,460
普通預金(公益:共通)	大分県信用組合	公1:運転資金として 口座No:4008638	6,308,992
普通預金(法人)	大分銀行山香支店	法人:運転資金として 口座No:5028035	3,364,529
普通預金(法人)	ゆうちょ郵貯銀行	法人:運転資金として 口座No:17200-18584731	5,004,356
普通預金(高次元)	JAべっぷ日日出亀川駅前支店	公1:運転資金として 口座No:0021111	439,565
普通預金(高次元)	JAべっぷ日日出支店	公1:運転資金として 口座No:0011743	6,334,968
普通預金(高次元)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0032043	8,431,097
普通預金(農地:集積)	JAおおいた杵築市店	公1:運転資金として 口座No:0032214	1,789,495
普通預金(杵築:保全)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0043423	7,361,382
普通預金(eco)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0005606	16,367,582
普通預金(リース特会)	JAおおいた杵築支店LE	公1:運転資金として 口座No:0032203	121,831
普通預金計			121,008,103
預金計			121,008,103
事業未収入金(集積)	農地利用集積円滑化	公1:農地貸借に関する未収金	120,000
事業未収入金(保全)	農地保全管理	公1:農地保全に関する未収金	1,247,904
事業未収入金(高次)	高次元農業推進	公1:育苗に関する未収金	12,501,114
事業未収入金(eco)	山香グリーンエコラント*	公1:家畜糞尿処理・堆肥化に関する未収金	5,411,978
事業未収入金(公益:共通)	公益目的(共通)		410,033
事業未収入金(収益:公共)	公共施設等管理	収1:収益活動に関する未収金	2,461,800
事業未収入金計			22,152,829
未収収益		公1:定期預金(特定資産)未収利息 ¥20,729 法人:定期預金(基本財産)未収利息 ¥2,157	22,886
棚卸資産:諸材料		公1:農地保全・高次元・堆肥、収1に関する棚卸資産	5,499,426
棚卸資産:原材料		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	117,480
棚卸資産:仕掛品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	614,005
棚卸資産:製品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	7,191,168
たな卸資産計			13,422,079
貯蔵品:切手	手元保管	公1:¥8,528、収1:¥330、法人:¥990	9,848
貯蔵品計			9,848
立替金		公1:大分県産業廃棄物処理業協会・処理伝票	9,900
流動資産合計			156,683,056
II 固定資産			
1 基本財産			
基本財産定期預金(基)	JAおおいた山香支店	法人の運転資金の財源とするため保有運用益を管理費の財源として使用 口座No:00677466	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
2 特定資産			
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的費用の財源として使用 口座No:06019161	12,000,000
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、リース農園事業費用に備えたもの 口座No:07336715	14,100,000
特定資産定期預金計(特)			26,100,000
構築物(特)(指・一)	ハウス設備	公1:公益目的事業に使用	24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	軽トラック、軽箱バン、マニースプレッター	公1:公益目的事業に使用 ¥14,014,803 収1:収益目的事業に使用 ¥1,699,691	15,714,494
機械装置(特)(指・一)	産業用無人ヘリコプター、田植機、コンバインほか	公1:公益目的事業に使用	64,246,718
栽培特許料(特)(指・一)	輪菊栽培特許料	公1:公益目的事業に使用	615,000

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和8年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
機械・設備取得資金(特)(指・一)	特定資産取得・改良資金 JAおおいた山香支店	特定資産所得・改良資金として積み立てる資産であり、資産取得資金として管理されている。 公1:定期預金 口座No:09927618 ¥22,583,049	22,583,049
減価償却累計額(特)(指・一)(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-97,520,526 収1:収益目的使用資産減価償却 ¥-1,699,689	-99,220,215
特定資産合計			54,795,077
3 その他固定資産			
構築物	シャワーユニット	公1:公益目的事業に使用	210,000
車両運搬具			3,480,290
工具器具備品		公1:公益目的事業に使用 ¥10,500 法人:管理目的として使用 ¥32,550	43,050
機械装置	育苗台車、デイスクリーター ハンマーナイフ	公1:公益目的事業に使用 ¥10,886,293 収1:収益目的事業に使用 ¥648,000	11,534,293
電話加入権	2回線	法人:管理目的として使用	152,880
保証金			22,160
減価償却累計額(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-7,172,754 収1:資産減価償却 ¥-647,999	-7,820,753
その他固定資産合計			7,621,920
固定資産合計			92,416,997
資産合計			249,100,053
【負債の部】			
I 流動負債			
事業未払金(集積)	農地賃借料ほか	公1:農地賃借に関わる未払金	266,983
事業未払金(保全)	修繕費ほか	公1:農地保全に関わる未払金	811,846
事業未払金(高次)	諸材料ほか	公1:育苗に関わる未払金	7,803,466
事業未払金(eco)	通信運搬費	公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(直接)	926,481
事業未払金(リース)	施設更新料ほか	公1:リース農園使用に関わる未払金	112,774
事業未払金(公益:共通)	法定福利費ほか	公1:公益目的共通に関わる未払金	2,648,553
事業未払金(収益:公共)		収1:収益活動に関わる未払金	1,039,161
事業未払金計			13,609,264
管理外(法人) エコラント	車輦費ほか	法人会計に関わる未払金 公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(立替)	198,402 515,667
未払金計			714,069
預り金	源泉徴収税、住民税	公1に関わる預り金	157,709
賞与引当金	職員に係るもの		2,752,522
流動負債合計			17,233,564
II 固定負債			
退職給付引当金		公1:退職給付引当金	26,876,500
固定負債合計			26,876,500
負債合計			44,110,064
正味財産			204,989,989

令和 8 年度

株式会社 きつとすき
事業計画書

杵築市

令和 8 年度事業計画

1. 経営環境への認識

- ・会社設立から 9 年目を迎え、社会・経済環境や消費者ニーズ、杵築市の産業構造、人材確保を取り巻く環境は大きく変化しており、その変化を前提とした経営判断が一層重要となっている。
- ・仕入先となる市内事業者は、高齢化や後継者不足に加え、原料・資材価格の高騰により経営環境が一段と厳しさを増している。
- ・杵築市を支える一次産品事業者は、気候変動による猛暑や海水温上昇などの影響を受け、収穫量・漁獲量ともに不安定な状況が続いている。
- ・原料・資材価格の高騰は当社の仕入価格にも大きく影響しており、売上や利益率の低下など収益基盤への影響が避けられない状況にある。
- ・地域商社としての「地域性・公益性・継続性」と、株式会社としての「収益性・持続可能性・人材確保」のバランスを意識し、安定した経営基盤の構築を進めていく。
- ・既存事業を着実に伸ばしながら、市場環境の変化に対応した新たな事業領域への挑戦を継続していく。
- ・設立 10 年目以降を見据え、地域商社の役割や機能、法人のあり方について杵築市と協議を進め、中長期的な方向性を検討していく。

2. 第 9 期の経営方針（中長期の中での今期の位置付け）

会社 3 事業部の収益構造の健全化・適正化・安定化を進め、持続可能な経営基盤と収益力向上への道筋を確立する 1 年とする。

また、外部パートナーとの連携を強化し、新たな事業成果の創出につなげていく。

3. 必達目標

経常利益での黒字確保（赤字からの脱却）

- ・売上総利益の着実な積み上げ
- ・費用削減の徹底

4. 各事業部の重点方針

【流通事業部】

自主事業による安定した収益基盤の構築を進め、黒字化を目指す。新たな収益源として、杵築産柑橘（規格外品・果汁）を活用した土産品の商品開発に取り組む。また、「食品小分け業」の活用による収益率向上を図るとともに、返礼品提供事業者として「米・みかん」の取

りまとめスキームの構築に挑戦し、地域事業者との連携強化を進める。

【ふるさと納税事業部】

杵築市の方針に沿った事業運営を行い、寄附額の拡大を目指す。主力返礼品の魅力向上、特に絆屋をはじめとする主力事業者への支援を強化するとともに、主要ポータルサイトでの販売力向上に取り組む。また、有力カテゴリーである「みかん」「米」の返礼品強化を進め、安定した寄附額の確保につなげていく。

【ドローン事業部】

新たな事業運営体制のもと、非常勤顧問との連携を図りながら円滑な事業運営を進める。継続事業である中学校プログラミング授業や「ひまわり」での操縦体験など、地域に根差したレギュラー業務を着実に実施し、公益性と事業性の両立を図っていく。

以上

令和 8 年度

株式会社 きつとすき
予算書

杵築市

令和8年度株式会社きっとすき予算

【売上】

単位：千円

種別	事業内容	金額
委託	ふるさと納税事業部	32,200
委託	流通事業部	5,000
自主	流通事業部	22,000
自主	ドローン事業部	1,500
	①合計	60,700

【支出】

単位：千円

種別	項目	金額
委託	ふるさと納税事業部	3,100
委託	流通事業部	3,800
自主	流通事業部	16,000
自主	ドローン事業部	1,000
経費	長期未払金	792
	支払手数料	60
	諸会費	74
	役員報酬	6,000
	給料手当	20,600
	法定福利費	3,964
	厚生費	200
	研修費	10
	リース料	25
	地代家賃	600
	事務用消耗品費	950
	通信費	403
	租税公課	21
	接待交際費	250
	保険料	76
	備品消耗品費	155
	管理諸費	587
	車両費	120
	雑費	110
	水道光熱費	417
	支払利息	0
	労働保険	400
	修繕	48
	旅費交通費	300
	寄付金	0
	広告宣伝費	0
	中退金	600
	研究開発費	12
	経費合計	36,774
	②合計	60,674

	経常利益①-②	26
--	---------	----

令和 7 年度

株式会社 きつとすき
事業報告書

杵築市

第 8 期事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

株式会社きっとすきの第 8 期は、①流通事業部は市からの「委託事業」と商社自らが企画・実施する「自主事業」に、②ふるさと納税事業部は「委託事業」に、③ドローン事業部は「委託事業」と「自主事業」にそれぞれ取り組んだ。

I. 流通事業部

【委託事業】

(1) 杵築ブランドプロモーション委託業務

杵築ブランドの認知度向上や商品の販売促進を目的に、杵築ブランドのデジタル広告やブランド認定品の写真撮影等のプロモーション活動をデジタル・アナログ両面から行った。

・デジタル広告

ふるさと納税の検索数が増加する 12 月中旬から 1 月中旬にかけてインターネット上で広告を配信した。ふるさと納税で寄附を多く集めている杵築ブランド認定品 3 品のバナーを作成し、Yahoo・Meta (facebook/Instagram) ・UNIVERSE (各社サイト) の 3 媒体に出稿した。広告は、インターネット利用者がサイト閲覧時に出てきた杵築ブランド認定品のバナーをクリックすると杵築市 HP 内の杵築ブランドページに誘導されるよう設計した。

・写真撮影

R7 年度「杵築ブランド」認定の 4 品目 8 品の商品写真 (計 16 カット) およびシズル写真 (計 8 カット)、既存認定品 4 品の商品写真 (計 8 カット) および 4 品のシズル写真 (計 29 カット)、合計 61 カットの撮影を行った。カメラマンは時田健一氏に依頼し、フードコーディネーターは株式会社たべごとカンパニーの木村真琴氏に依頼。きっとすき監修下にて、大分市のキッチンスタジオで撮影した。

【自主事業】

流通事業部として、市内製品の販売を行った。

今年度も市内事業者の最大ニーズである「恒常的かつ持続的な売上・収益確保」に向け、定番の売場確保、継続的な取引きに主眼を置いて活動した。令和7年度もふるさと納税の売上げが最も多く、年間実績は約3,000件、7,900千円（税抜）で、杵築市のふるさと納税の中では、件数で5番目、金額で6番目に多い事業者であった。

(1) 新たな取り組み

①新たなB2B販路「goooods」での販売開始

R7年4月、杵築市商工会の支援を仰いで前年度1月に参加した展示会で商談を行った「BtoBプラットフォームサービス goooods」において4社(JF,高橋水産、オレンジ農園、きつき紅茶)の商品販売の取り扱いを開始した。

②「食品の小分け業」の営業許可取得

R7年6月、流通事業部の年間売上高2位と3位の高橋水産の別府湾焼きえびと別府湾かちえびの値上げが確定した。これを受けて「食品の小分け業」の営業許可を取得し、自社における商品化（小分け・内容量軽量・袋詰め・シーリング）を開始し、値上げによる既存取引先の離脱防止に努めた。同許可業の取得は、事業者からの要請を受け、収益率向上が見込めること、そして流通事業の隣接領域として備えるべき機能の1つと考え、取得することとした。商品を仕入れて販売する卸売りと比較して圧倒的に高い値入率が見込めるため、焼きえび・かちえびの袋詰めに限らず、同許可業を活用した業務の拡大について検討を続ける。また、同許可業の申請施設は当初杵築ふるさと産業館隣の「故郷」としたが、R8年3月に一松邸敷地内の「風の一丘」で取得し直した。「風の一丘」は比較的設備が新しく、十分な作業スペースも確保できるため、売上および利益拡大に資する営業許可が別途あるようであれば、その取得・活用についても検討を進める。

③新商品「フルーツ甘酒」開発

新たな収益源の確保のため、新商品の開発に取り組んだ。大まかな商品設計は、市内事業者である中野酒造の製造過程で発生する副産物（酒粕）を有効利用し、市内産の柑橘果汁を配合して甘酒を作り、購入後すぐ飲むことも可能な形態で土産物店において販売するというもの。製造委託先の選定を行い、原材料の確保やレシピ開発の段取りを組んでいる最中に製造委託先から受入拒否の連絡が急遽入り開発を断念したが、ここで得た知見は今後に役立てていく。

(2) 特記事項

①杵築市全体のふるさと納税が2年続けて低迷する中で、主力商品である鰯の切身（製造元：JF おおいた杵築支店）は取扱い開始以来5年連続で伸長を続け、杵築市で件数が3番目に多い返礼品に成長した。

②流通事業部の年間売上高2位の高橋水産の別府湾焼きえびに関して、前年のえびの不漁の影響で、1月から7月下旬まで欠品が続いた。これによって、同品の年間売上高が1/4以上減少しただけでなく、実店舗で取引高が最も多く、創業年から取引が続いていた別府湾SAの2店舗のうち上り線のショップにおける取り扱いが、残念ながら終了となった。

③R7年12月末、トラストバンクが運営するモール型ECサイト『めいぶつチョイス』が閉鎖された。

※トラストバンクはふるさと納税ポータルサイト大手「ふるさとチョイス」の運営会社

④R8年1月末、ソラシドエアが運営するECサイト『Solaseed MART』が閉鎖された。

(3) 令和7年度の売上実績

	令和7年度	令和6年度	増減	前年対比
売上高（税抜）	17,027 千円	20,678 千円	▲3,651 千円	82.3%
荒利益高（税抜）	3,909 千円	4,264 千円	▲355 千円	91.7%
荒利益率	22.96%	20.62%	+0.13%	111.3%

(4) 令和7年度取引先（五十音順）

①販売先（32社+α） 新規4社増（下線）

- ・居酒屋わらび
- ・海地獄
- ・大分県
- ・大木化粧品
- ・大田商店
- ・きつき小町会
- ・杵築市（ふるさと納税）
- ・杵築ふるさと産業館
- ・紀ノ國屋
- ・グランドメルキュール

- ・さとふる
- ・サンリッチ
- ・しんきや旅館
- ・ソラシドエア
- ・峠たていしの館
- ・玉の湯
- ・テラス御堂原
- ・デンケン
- ・テンポスドットコム
- ・トキハ（ギフト）
- ・トキハ（催事）
- ・錦屋商事
- ・トラストバンク
- ・ハクヨー
- ・ホテル晴海
- ・やまが地域創生機構 山香温泉 風の郷
- ・湯の里
- ・横浜薬科大学
- ・リ・クリエイト（別府湾サービスエリア）
- ・るるパーク
- ・gooooods
- ・OH！
- ・その他（個人客）

②仕入先（36 社） 新規 1 社増（下線）

- ・綾部味噌醸造元
- ・伊藤園
- ・今村商店（お茶のとまや）
- ・今村農園
- ・大分県酪食肉公社
- ・大分水産
- ・岡本商工（萬力屋）
- ・オレンジ農園
- ・絆屋
- ・きつき紅茶
- ・杵築市観光協会
- ・杵築市商工会

- ・杵築七島蘭マイスタークラブ
- ・きつき茶生産組合
- ・杵築ふるさと産業館
- ・木付や
- ・九州乳業
- ・河野打刃物店
- ・近藤養蜂場
- ・椎茸問屋 徳一
- ・新庄農地利用組合
- ・森美
- ・高橋水産
- ・匠
- ・竹野工芸店
- ・中野酒造
- ・フードスタッフ
- ・豊予農場
- ・松山堂
- ・宮部商店（焼肉みやべ）
- ・木工房矢吹
- ・野草の里やまうら
- ・山香ゆうきの会
- ・AMC
- ・JA おおいた東部事業部
- ・JF おおいた杵築支店

Ⅱ. ふるさと納税事業部

【委託事業】

1-1 令和7年度の寄附実績について

令和7年度の杵築市ふるさと納税の寄附金額は、669,186,400 円であった。

令和6年度の寄附金額は744,312,000 円であり、前年度比は92.66%の寄附実績となった。

約98.3%がポータルサイト経由の寄附であり、下記19サイトを包括代行業務の一環として運用を行った。

- ・ふるさとチョイス
- ・楽天ふるさと納税
- ・さとふる
- ・ふるなび
- ・ANA のふるさと納税
- ・JAL ふるさと納税
- ・Amazon
- ・Yahoo!ふるさと納税
- ・au PAY ふるさと納税
- ・JRE MALL ふるさと納税
- ・セゾンのふるさと納税
- ・ふるらぼ
- ・KABU&ふるさと納税
- ・ケアネットふるさと納税
- ・V ふるさと納税
- ・マルイふるさと納税
- ・まいふる
- ・ふるさと納税デパート
- ・ニフティふるさと納税

1-2 寄附減少の要因分析

a 市場全体の傾向

- ・6年連続で過去最高を更新し、受入額は約1兆4000億円の見込み
- ・長引く物価高による日用品などの「生活防衛型」需要が定着した
- ・10月からの「仲介サイトを通じたポイント付与の全面禁止」により直前の9月に全国的な駆け込み寄附が急増した

[ポイント付与禁止について]

令和7年10月以降のポイント付与禁止については、令和5年10月以降の経費ルールの厳格化から返礼率が全国的に減少する時期を経て過去最大級の制度改正となった。寄附者の「ふるさと納税＝お得な制度」という概念が崩れる年となった。

b 寄附減少の要因分析

前提：全国の他自治体に比べ返礼率を低くせざるを得ない構造的な課題を抱えている

- ①食料品中心に寄附が入り、冷凍品の割合も高いため特に送料の負担が経費を圧迫
- ②観光・宿泊・体験のコト消費への寄附割合（送料無料）が低く、送料を軽減できていない
- ③一部の自治体は、組織名の変更・経費費目の振替え等による経費率圧縮をも活用

- ・主力品（りゅうきゅう・かぼすブリ・うなぎ）の価格競争が激化し、寄附額・量目両面で他自治体の返礼品との差が大きくなった
- ・主力事業者（一社）が供給力不足により、ほぼ一年間寄附受付をできなかった
- ・生活防衛品として米カテゴリーの需要が爆発的に高まったが、供給量が圧倒的に少なく全国的な傾向に対応できなかった
- ・コト消費としての旅行宿泊券の返礼品が伸長しているが、その需要を取り込めていない

2-1 返礼品提供事業者の新規開拓

令和7年度は下記3事業者の新規開拓を行った。

- ・マリンショップ BUZZ
- ・メジャーフォレストリー
- ・土山農園

2-2 掲載ポータルサイトの増加

令和7年度に新たに掲載サイトを8サイト増やした

- ・JAL ふるさと納税（令和7年6月～）
- ・ケアネットふるさと納税（令和7年6月～）
- ・Amazon（令和7年7月～）
- ・V ふるさと納税（令和7年7月～）
- ・マルイふるさと納税（令和7年8月～）
- ・まいふる（令和7年8月～）
- ・ふるさと納税デパート（令和7年11月～）
- ・ニフティふるさと納税（令和7年11月～）

2-3 9月・12月の需要期対策としてセット品・定期便を開発

令和7年度に需要期対策として2つ以上の品を組み合わせ受付するセット品を7品目毎月お届けする定期便を32品開発を行った。

2-4 縦スクロール画像の増設によるコンバージョン（成約率）アップ施策

主力事業者の絆屋・タクミート・大分水産の返礼品ページに寄附者の購買意欲を高める縦スクロール画像を追加。従来のページより滞在時間が長くし、寄附申込まで到達する確率を上げる取り組みを行った。

2-5 主要サイトの返礼品掲載数

年末、12月31日時点での各ポータルサイトの返礼品掲載数は下記のとおりであった。

ふるさとチョイス・・・817品
楽天市場ふるさと納税・・・449品
さとふる・・・546品
ふるなび・・・514品

2-6 ふるさとチョイス企画・運営の（株）トラストバンクとの連携強化として

【ふるさとチョイス大感謝祭へ出展】

11月8日・9日の2日間パシフィコ横浜で開催された第11回ふるさとチョイス大感謝祭では杵築市として出展を行い、市の認知度向上や寄附額伸張に努めた。

- ・イベント名：第11回ふるさとチョイス大感謝祭
- ・場所：パシフィコ横浜 ホールC・ホールD
(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- ・出展数：163自治体
- ・来場者数：2日間のべ17,618名

企画内容

今年の大感謝祭はみかん農家の阿部農園さん以外初となる事業者の（株）絆屋中野社長が参加されることになった。そこで絆屋の返礼品の中でも人気の「かぼすブリしゃぶ」にスポットを当て、「かぼす」を核とした企画を実施した。

【タブレットクイズ】

大分県や杵築市、杵築市の返礼品に関する全 15 問（2 択）のタブレットクイズを実施した。同時に参加できる人数を原則 4 名とし、正解の発表や説明にはそれぞれ 15 秒間の待ち時間を設け、参加者自身がクイズを進行できないよう設定した。

タブレット 2 台に対して約 1 名のスタッフを配置し、回答中のクイズや返礼品の説明を個別に行った。クイズ終了後に「かぼすブリしゃぶ」の試食を提供し、かぼす（掴み取り片手 1 回）、つぶらなカボス（1 本）を特注のきつきトートバッグに入れてお土産とした。別途きつみん缶バッジも抽選箱から 1 個引いてもらった。

【クイズカード・スタンプラリー】

大感謝祭の全体企画（クイズカード・スタンプラリー）で杵築市ブースを訪れた来場者には、抽選箱からきつみん缶バッジを 1 個引いてもらい、かぼす 1 個を手渡した。

2-7 portalPILOT システムの導入

（株）ワークシーが開発する portalPILOT システムの導入を行い、これまでサイト毎の CMS で管理を行っていた 3 サイト「ふるなび」「ANA のふるさと納税」「JAL ふるさと納税」の 3 サイトについて、返礼品の登録や更新をシステム経由で一元管理できるようになった。

3-1 令和 8 年度の方針

前期の寄附額減少の要因分析を踏まえた上で、市との協議・連携を重ね、マーケットの動向を捉えた戦略策定、各ポータルサイトとの連携、主力返礼品の強化等により、計画的に着実に寄附額回復を進めていきたい。具体的な方針は以下の通り。

- ・杵築市のシェア上位 2 社（ふるさとチョイス・楽天市場）の強化
- ・新規サイトふるさと生活の運用開始および活用
- ・主力事業者への徹底的な支援
- ・お米・みかんの戦略カテゴリーに対しては、中期的に積み上げられる仕組み構築を目指す
- ・9 月駆け込み需要に備えた、早期の在庫確保、先行予約受付開始、事業者の発送体制の強化
- ・寄附額最大化に向けた効果的・効率的な業務運営

Ⅲ. ドローン事業部

【委託事業】

(1) 杵築市内中学校プログラミング教育推進事業委託業務

令和7年11月に宗近中学校・12月に山香中学校・令和8年1月に杵築中学校の2年生に技術家庭科の授業としてドローンを使ったプログラミングを実施した。

単にプログラミングを教えるだけでなく、先端技術として将来活用が見込めるドローンを手動操作・プログラムによる自動操作を生徒ひとりひとりが体験した。

応用編として過去に弊社が杵築市で行ったドローン物流実証事業を地域の課題と絡めて説明した後、各班が小さいドローンで模擬的に実証試験を再現し検証した。

(2) 杵築市学校教育支援センター『ひまわり』ドローン操作研修委託業務

令和7年10月と11月に2回に分けて杵築市学校教育支援センター「ひまわり」においてドローンの基礎知識を学ぶための座学と手動によるドローン操作及びプログラミングによる自動操作を体験する研修を行った。

普段触れる機会が少ないドローンを体験して頂き、自己肯定感の創出や興味を持って次に繋がる活力を付けてもらう取組みとして行った。

【自主事業】

(1) おおいたドローンプラットフォームクロスとの連携

おおいたドローンプラットフォームクロスはドローンによる地域課題の解決及び社会実装を加速させていく上で、ドローンサービスをワンストップで一元的に管理・運用する役割を担う目的の下、大分県のドローンプラットフォーム推進事業として設けられた。

弊社も以下をドローンプラットフォームより受注した。

- ・5月上村の郷にてドローン電波帯活用実証事業
- ・7月国東クリーンセンター建設工事完了後の状況撮影
- ・10月九州電力ふれあいフェスタドローン体験

(2) 立石小学校閉校記念記録動画撮影及び編集業務

令和7年度立石小学校閉校にともないドローン空撮6回・地上撮影4回行った。

過去の資料と合わせ動画編集も行い実行委員会宛に納品した。

編集した動画はDVDに焼き増しされた。

(3) 風力発電稼働後景観撮影

ENEOS リニューアル・エネルギーより山香町に建設され稼働が始まった風力発電の景観撮影を実施した。

(4) ドローン講座・操縦体験・プログラミング体験

- ・ 5月 大分県障害者スポーツ大会ドローンサッカー体験
- ・ 10月 きつきっ子グローバル塾ドローン体験
- ・ 12月 院内中部小学校ドローン体験
- ・ 1月 杵築市子ども会育成連絡協議会ドローン体験(農林水産祭り並行事業)
- ・ 1月おおいたドローンフェスティバル 2026in 杵築にて FPV ドローン体験
- ・ 年5回あすびあ大分(大分県身体障害者福祉センター)ドローンサッカー講師

(5) スクール開催

一般社団法人 DPCA 大分校として4月・7月は2回・8月・10月・11月にドローン民間資格発行のスクール及び一等・二等無人航空機国家ライセンスセンターを上村の郷(山香町)にて開催した。県内外から受講生が集まった。

(6) 空撮業務

- ・ 4月きつき紅茶空撮
- ・ 10月川田建設荷積み風景撮影

IV. 地域商社としての地域への活動

「地域商社は地域の市民であり、地域があつてこそ商売を営ませて頂けている」という認識の下、以下の地域活動に参加させて頂いた。

- ・ 令和7年5月「お城祭り」への出店
- ・ 令和8年1月「農林水産祭」への出店
- ・ 令和7年10月 杵築高校「1次産業の活性化×バリューチェーン」でのテーマ講師
- ・ 令和8年3月 宗近中学校「地域の学ぶ職業人講話」での講師

V. 第8期決算の概要

- ・第8期決算は、以下の通り経常利益で▲341万円の赤字決算となった。
- ・売上高は5709万円と前期比でほぼ横ばいで推移したが、売上総利益が3901万円と前期比で▲158万円のダウンとなった。一方、販売管理費は4309万円と前期比▲226万円と削減したが、営業利益は▲408万円と営業赤字となった。
- ・営業外収益として66万円を計上したが、経常利益は▲341万円、当期純利益は▲348万円といずれも赤字となった。
- ・赤字幅は前期（経常利益▲408万円、純利益▲415万円）と比較すると縮小傾向にあるものの、引き続き収益構造の改善が急務な状況にある。

<決算数字>

売上高 : 5709万円（前期 5712万円）

売上総利益 : 3901万円（前期 4059万円）

販売管理費 : 4309万円（前期 4535万円）

営業利益 : ▲408万円（前期 ▲476万円）

営業外利益 : 66万円（前期 68万円）

経常利益 : ▲341万円（前期 ▲408万円）

純利益 : ▲348万円（前期 ▲415万円）

令和 7 年度

株式会社 きつとすき
財務諸表

杵築市

第 8 期

決 算 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 31 日まで

(株) き っ と す き
(法人番号:2320001016283)

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

代表者 北 康夫

(単位:円)

科 目	前 期 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
(資 産 の 部)				
I 流 動 資 産	(37,148,101)	(87.6)	(33,741,114)	(92.3)
現金及び預金	29,828,841	70.3	20,672,658	56.5
売掛金	6,063,855	14.3	11,847,407	32.4
棚卸資産	949,105	2.2	1,221,049	3.3
未収還付法人税等	306,300	0.7	0	0.0
II 固 定 資 産	(5,252,782)	(12.4)	(2,830,946)	(7.7)
有形固定資産	(5,252,782)	(12.4)	(2,830,946)	(7.7)
工具、器具及び備品	1,137,982	2.7	661,346	1.8
リース資産	4,114,800	9.7	2,169,600	5.9
無形固定資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
投資その他の資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
III 繰 延 資 産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
資産の部合計	42,400,883	100.0	36,572,060	100.0

(株)きっとすき

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(負 債 の 部)				
I 流 動 負 債 金	(4,943,968)	11.7	(4,743,638)	13.0
買 入 掛 金	1,061,304	2.5	517,099	1.4
未 払 法 人 税 等 金	2,936,700	6.9	2,692,457	7.4
未 払 消 費 税 等 金	35,500	0.1	71,000	0.2
未 預 け 金	900,300	2.1	1,551,800	4.2
	10,164	0.0	-88,718	-
II 固 定 負 債 金	(4,609,110)	10.9	(2,469,390)	6.8
長 期 未 払 金	4,609,110	10.9	2,469,390	6.8
負 債 の 部 合 計	9,553,078	22.5	7,213,028	19.7
(純 資 産 の 部)				
I 株 主 資 本 金	(32,847,805)	77.5	(29,359,032)	80.3
1. 資 本 金	4,500,000	10.6	4,500,000	12.3
2. 資 本 剰 余 金	0	0.0	0	0.0
3. 利 益 剰 余 金	28,347,805	66.9	24,859,032	68.0
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	28,347,805	66.9	24,859,032	68.0
繰 越 利 益 剰 余 金	28,347,805	66.9	24,859,032	68.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0	0.0	0	0.0
III 新 株 予 約 権	0	0.0	0	0.0
純 資 産 の 部 合 計	32,847,805	77.5	29,359,032	80.3
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	42,400,883	100.0	36,572,060	100.0

損 益 計 算 書

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売上高	57,123,162	100.0	57,095,200	100.0
業務委託料	33,441,228	58.5	36,551,882	64.0
商品売上	21,139,883	37.0	17,745,480	31.1
ドローン事業売上	2,542,051	4.5	2,797,838	4.9
II 売上原価	16,530,256	28.9	18,079,808	31.7
期首仕入れ	666,600	1.2	651,505	1.1
商外仕入れ	16,515,161	28.9	13,157,555	23.0
合期末仕入れ	0	0.0	5,268,597	9.2
期高費計	17,181,761	30.1	19,077,657	33.4
期末総利益	651,505	1.1	997,849	1.7
	40,592,906	71.1	39,015,392	68.3
III 販売費及び一般管理費	45,354,633	79.4	43,097,132	75.5
販売費及び一般管理費	45,354,633	79.4	43,097,132	75.5
営業損失	4,761,727	8.3	4,081,740	7.1
IV 営業外収益	680,032	1.2	663,967	1.2
受取利息	15,428	0.0	56,561	0.1
貸倒引当金戻入	170,000	0.3	0	0.0
雑収	494,604	0.9	607,406	1.1
V 営業外費用	5,054	0.0	0	0.0
支払利息	5,054	0.0	0	0.0
経常損失	4,086,749	7.2	3,417,773	6.0
VI 特別利益	0	0.0	0	0.0
VII 特別損失	0	0.0	0	0.0
税引前当期純損失	4,086,749	7.2	3,417,773	6.0
法人税、住民税及び事業税	71,000	0.1	71,000	0.1
当期純損失	4,157,749	7.3	3,488,773	6.1

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
旅 費	439,537	0.8	368,553	0.6
広 告	62,885	0.1	47,674	0.1
容 器	156,981	0.3	311,113	0.5
荷 造	357,720	0.6	413,720	0.7
支 払	640,536	1.1	317,899	0.6
販 手	564,683	1.0	1,429,514	2.5
諸 員	80,910	0.1	78,274	0.1
役 料	5,700,000	10.0	5,700,000	10.0
給 業	21,713,535	38.0	21,554,141	37.8
従 定	2,060,000	3.6	1,390,000	2.4
法 員	5,339,597	9.3	4,111,912	7.2
厚 福	1,242,961	2.2	933,727	1.6
研 生	0	0.0	11,091	0.0
減 償	2,838,252	5.0	2,421,836	4.2
り 価	45,600	0.1	24,300	0.0
地 一	308,725	0.5	308,724	0.5
修 代	0	0.0	136,000	0.2
事 務	925,721	1.6	967,342	1.7
通 用	449,866	0.8	481,188	0.8
水 道	449,550	0.8	437,591	0.8
租 税	30,612	0.1	41,862	0.1
寄 待	0	0.0	5,000	0.0
接 交	366,292	0.6	303,232	0.5
保 險	76,320	0.1	45,360	0.1
備 品	586,546	1.0	358,335	0.6
管 理	587,400	1.0	587,400	1.0
車 輛	234,314	0.4	161,632	0.3
新 函	0	0.0	950	0.0
研 開	15,308	0.0	13,208	0.0
雜 書	80,782	0.1	135,554	0.2
合 計	45,354,633	79.4	43,097,132	75.5

棚卸資産の計算内訳

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商 品	651,505	1.1	997,849	1.7
貯 蔵	297,600	0.5	223,200	0.4
合 計	949,105	1.7	1,221,049	2.1

株主資本等変動計算書

令和 7 年 4 月 1日から
令和 8 年 3 月 31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高	4,500,000	4,500,000
当期変動額	0	0
当期末残高	4,500,000	4,500,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	32,505,554	28,347,805
当期変動額		
当期純損失	-4,157,749	-3,488,773
当期末残高	28,347,805	24,859,032
その他利益剰余金合計		
当期首残高	32,505,554	28,347,805
当期変動額		
当期純損失	-4,157,749	-3,488,773
当期末残高	28,347,805	24,859,032
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	37,005,554	32,847,805
当期変動額		
当期純損失	-4,157,749	-3,488,773
当期末残高	32,847,805	29,359,032
II 評価・換算差額等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	37,005,554	32,847,805
当期変動額		
当期純損失	-4,157,749	-3,488,773
当期末残高	32,847,805	29,359,032

個 別 注 記 表

令和 7 年 4 月 1日から
令和 8 年 3 月 31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 11,481,909円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 45株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、652,422.93円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、77,528.28円であります。

以 上

